

## 第7回京都市洛西地域公共交通会議 摘録

日 時：令和8年7月21日（火）午後3時～午後4時  
場 所：洛西支所 2階会議室  
出席者：別紙出席者名簿のとおり

### 1 開会

#### ○ 事務局（会議の諸注意及び配布資料の確認）

#### ○ 委員紹介

— 事務局から京都市洛西地域公共交通会議委員の紹介 —

#### ○ 宇野会長（京都大学大学院）

（挨拶）

皆様のそれぞれの立場において、「公共交通を守っていく」という熱い思いと、現状などを示す客観的なデータを合わせることによって、今後の展望につながるような議論ができればと思う。

日本においては、都市部における公共交通は、ほぼ100%、冷房を完備している。暑い時期でも寒い時期でも安心して移動できるという優れた環境は、世界中を見ても他にないと思う。課題もたくさんあるかと思うが、この財産を次の世代に残せるように皆様のお力添えをいただきながら進めてまいりたい。

### 2 議題

#### (1) 大原野地域の公共交通に関するアンケート結果について

##### ○ 事務局

（資料1に基づき、説明）

昨年7月に開催した「第6回京都市洛西地域公共交通会議」において、阪急バスから、令和8年度末に63号系統を廃止する意向であることを表明された。これを受け、大原野自治連合会において、路線廃止後の交通のあり方の検討に向けて、地域の交通利用の現状、またニーズ等を把握するためのアンケートを実施された。

資料1に関係路線の情報を記載している。阪急バス66号系統は令和7年5月末で廃止されており、さらに63号系統が来春に廃止になると、宇ノ山辺りのバス路線がなくなることになる。

##### ○ 小原委員（西京区自治連合会 副会長、大原野自治連合会 会長）

（資料2及び資料3に基づき、説明）

大原野地域においては、阪急バスの5割減便や善峯寺路線の廃止、そして来春の63系統廃止と、住民の生活の足が次々と奪われる危機的な状況にある。

この現状を先送りすることなく、住民自らが「自分ごと」として捉え、正

確に現状を把握するためにアンケートを実施した。

阪急バス 63 号系統が廃止された場合、通勤・通学、通院、買い物などにおいて、多くの方が生活に支障をきたすと懸念されている。「市バス西 9 号系統が、灰方、宇ノ山を経由する路線に変更されれば利用したいと思いますか」との設問に対し、現在阪急バスを日常的に利用されている方で、灰方又は宇ノ山バス停を利用されている 94%の方が「利用する」と回答された。この結果から、西 9 号系統の経路変更が地域住民にとって切実な要望であることが数値として明確に表れている。

これまで経路変更については漠然としたニーズに留まっていたが、今回の結果により「ぜひ利用したい」という具体的かつ切実な声が集まった。この声は、交通問題に対する切実な想いの表れであり、私たちが今まさに大切に向き合っていくべき、大原野地域としての意思であると受け止めている。

昨年度の担当区長懇談会においても、学区要望として西 9 号系統の経路変更を提起していたが、今回のアンケート結果は、多くの住民がこの変更を強く待ち望んでいることを明らかに示している。今年度の担当区長懇談会においても、改めて切実な思いを込めて要望させていただいているところ。

過去の経緯にとらわれることなく、今の地域の姿と住民の切実なニーズに向き合っていただき、西 9 号系統の経路変更を改めて検討していただくよう強く要望する。

大原野自治連合会は、要望により新設していただいた西 9 号系統について、これまでも地域として利用促進に取り組んできた。本日、要望した経路変更についても、ただ要望して終わりにするのではなく、今後も京都市の補助金も積極的に活用しながら、地域内の広報周知や住民の意識向上に一層努めていく所存。公共交通を支える地域の一員として、その役割をしっかりと担っていく。

持続可能な洛西地域の発展のため、前向きな検討をお願いしたい。

## ○ 児玉委員（京都市交通局）

アンケート結果と御要望については、真摯に受け止める。

市バス西 9 号系統は、令和 6 年 6 月に運行を開始。小畑川公園を出発し、洛西バスターミナル、右京の里、南春日町を経由して、再び洛西バスターミナルを通過して JR 桂川駅を終点とするルートで運行している。今回、経路変更の御要望があったが、現在の経路で利用されているお客様への影響を考える必要がある。

全国的に深刻な運転士不足であり、市バスも同様の状況。何とか人員を確保し、バスネットワークを維持していこうと奮闘しているが、非常に苦しい状況である。このような状況の中、御要望の経路変更によって、必要な輸送力がどう変動するのかも非常に大事な要素である。新たに輸送力が必要となるのであれば、継続した運行は難しいことは御理解いただきたい。

西 9 号系統の利用状況であるが、令和 6 年度の一日あたりの利用者数は平均 259 人。100 円の運賃収入を得るためにどれぐらいの経費がかかって

いるかを示す営業係数は令和6年度で268であり、現在の西9号系統も非常に厳しい状況の中で運行している。また今回は、民間バス事業者が、路線維持が困難と判断された路線・エリアであることも事実。まずは、市バスの担い手不足の状況、西9号系統の現状についても御理解いただきたい。

#### ○ 榎田委員（京都市西京区役所洛西支所地域力推進室長）

運転士不足や営業上の課題も大きい中、原則論として、「民間バス事業者が撤退した路線を市バスで補ってください」というのは、単純には難しいということとは理解した。

一方で、アンケート結果では、西9号系統を経路変更した場合、「休日を含むほぼ毎日」「平日のほぼ毎日」使うと回答された方が計69人おられた。往復利用された場合は、旅客数は倍になる。アンケート結果に基づけば、かなりの旅客数の増加も期待でき、今回ケースでは、単純に廃止路線を埋めるという話だけではないのではないかと考えた。是非とも、前向きに検討いただきたい。

#### ○ 井上委員（龍谷大学教授）

全国的にバスの運転士不足が深刻化する中、仮に西9号系統を経路変更する場合であっても、今以上に必要な運転士数が増える変更は避けなければいけない。現在のバス運転士の平均年齢は50代。数年後にはさらに運転士不足が深刻になるということを前提に考えなければいけない。今回の御要望の経路変更により、運行距離が長くなるのか、短くなるのか。距離が変わらなくても走行時間が伸びるのかどうか。その辺りをしっかりと精査・検討しなければいけない。

また、現在、西9号系統が経由している東竹の里町と西竹の里町のバス停について、もし経路変更すれば通らなくなる。このエリアの利用状況をOD調査の結果などで確認し、どれぐらい影響が出るのかということを検証する必要がある。

一方で、今回のアンケートにおいて、デマンド交通に関する設問があったが、地域全体だけでなく詳細な回答状況をお聞きしたい。

#### ○ 小原委員（西京区自治連合会 副会長、大原野自治連合会 会長）

「事前予約制のデマンド交通等の移動手段が導入されたら利用しますか」という問いに対しては、大原野地域全体では「利用する」と回答された方が約40%。これを灰方、宇ノ山バス停周辺の方に絞ると50%、さらにその中で現在阪急バスを御利用の方に絞っても60%弱である。

市バスを経路変更した場合に利用する、という回答との間には乖離がある。やはり、「決められた時間に、予約なしで乗れるルートが決まったバスの方が安心できる」、「事前予約することが面倒だ」という理由から、このような結果になったのだと思う。

○ **井上委員（龍谷大学教授）**

新しい移動手段より馴染みのある市バスの方が安心する、という気持ちはよく分かる。今回は導入する必要はないかもしれないが、将来的に今以上に運転士不足が深刻化したら、地域全体でデマンド交通を取り入れていかなければならない時期が来るかもしれない。デマンド交通といった方法があることを学び、将来の選択肢の一つとして持っておくことは重要。

また、仮に経路変更が実現しても、それがゴールではなく、できたところがスタートである。いかに地域で利用者を増やしていけるか、「みんなで乗っていこう」という機運を高めることが重要となる。実際に、市バステ西4号系統などでは地域の利用促進の取組により利用者が増えている事例もある。そのノウハウを共有し、大原野地域でも取り組んでいただければと思う。

○ **宇野会長（京都大学大学院）**

運行距離や時間の精査、そして現行ルートの利用者の影響をしっかりと見極めるべきだ、という御指摘であった。非常に重要な視点だと思う。

○ **平山委員（ヤサカバス）**

先ほど交通局の児玉委員から、西9号系統の一日の利用者の平均が259名とあったが、ヤサカバスの御利用状況を見ても、洛西バスターミナル、境谷大橋、北福西町一丁目では多くの御利用がある。朝夕のラッシュ時間もあるので、259名という数字は、実態とイメージが異なるのではないかと思う。

○ **齋藤委員（元 NPO法人洛西福祉ネットワーク 理事長）**

仮に西9号系統が経路変更された場合、東竹の里町と西竹の里町は通らなくなるが、このエリアの住民に対しては何かアンケート調査などされたのか。

○ **小原委員（西京区自治連合会 副会長、大原野自治連合会 会長）**

東竹の里町と西竹の里町付近には市バスの他の系統や京阪京都交通、ヤサカバスも走っており、便数は十分に確保されている。一方、大原野地域は、現状でも運行回数は非常に少ない。阪急バス63号系統の廃止による最も大きな懸念事項は、宇ノ山といった公共交通がゼロになってしまうエリアが発生すること。これを防ぐために何ができるかを皆さんと考えていきたい。

○ **齋藤委員（元 NPO法人洛西福祉ネットワーク 理事長）**

検討を進めるにあたり、今後、東竹の里町と西竹の里町の住民に対する事前説明など、民主的なプロセスが必要だと思う。

○ **片岡委員（西京区自治連合会 会長、新林学区自治連合会 会長）**

西9号系統については、勝山町付近から乗車して桂川駅まで行くとすると、現状約40分かかる。非常に時間がかかり利便性に欠ける。このルートで利

用されている方がどれくらいいるのか疑問。

#### ○ 児玉委員（京都市交通局）

交通局においても、曜日ごと、時間帯ごとの御利用状況を把握しているが、勝山町や右京の里付近にお住まいの方は、買い物などで洛西バスターミナルまでの御利用が多く見られる。また、洛西バスターミナルや境谷大橋で乗り継いでいる方も多いようである。引き続き、御利用状況の把握に努める。またお気付きの点があればお知らせいただきたい。

#### ○ 宇野会長（京都大学大学院）

阪急バス63号系統廃止後の代替交通については、検討の始まりの段階。洛西地域全体として公共交通を維持するためにどのような選択肢があるのか、バス事業者あるいはタクシー事業者にも知恵を借りながら、それぞれの地域や行政において議論を進めていただきたい。

西9号系統の経路変更の検討に際しては、現行ルートの利用者への影響について十分に議論・検討する必要がある。また、小原委員から地域からの強い思いも聞いたので、それをもとにした利用促進の取組についても具体化していただきたい。

さらには、どれくらいの方がJR桂川駅や洛西ニュータウン内、あるいはJR向日町駅へと移動されているのかということもデータを確認すべき。その辺りも踏まえた上で、次回の会議にて、ルート変更の可能性があるのかないのか、他にどういう手立てがあるのかを議論したい。

#### ○ 事務局

現在の利用状況を確認するべきとの御指摘があった。洛西地域においては、令和6年に各バス事業者の旅客の流動調査を実施しており、結果を事務局で精査をさせていただく。また、井上委員から、御要望のとおり経路変更した場合、運行距離や時間がどうなるかというお話があったため、現在、運行されている阪急バスにも伺いながら、こういった影響があるのかというところを精査させていただきたい。

### (2) 令和8年8月のダイヤ改定について（株式会社ヤサカバス）

#### ○ 平山委員（ヤサカバス）

（資料4に基づき、説明）

今年8月22日（土）にダイヤ改定を予定している。本来であれば今年春にダイヤ改定を行いたかったが、職員不足のため対応ができなかった。今回の改定に際しては、今年6月の第2週の火曜日と土曜日の全便を対象に御利用状況を確認している。特に、JR桂川駅と阪急洛西口駅を出発する便で20時以降の夜間の便については、利用者数が20人に満たない便が約半数近くあるということが判明した。今回、この時間帯の減便および運行時刻の見直しを実施させていただきたい。この見直しにより、乗務員の退勤時間を2

2時までに短縮できる。インターバルという言葉で表現されるが、勤務終了後、次の勤務が始まるまでに最低9時間の休息時間を与えなければいけないという決まりがある。22時までに退勤すると翌朝の6時台の出勤が可能となり、朝ラッシュ時間帯に乗務員を充てることができるようになる。

また、昼間の時間帯の洛西ニュータウンを循環するバスなどで御利用が少ない便や、洛西バスターミナルから鉄道駅に向かって市バスと近い時間で運行している便についても減便の対象とする。

JR桂川駅発のバスについては、現在23時34分発の桂坂中央行きの最終便を減便する。よって、鉄道駅からの最終便については、桂坂方面については30分繰り上がって23時4分となり、洛西ニュータウンを循環する路線については23時19分が最終便となる。

御不便をお掛けすることになるが、何卒御理解いただきたい。

#### ○ 藤原委員（京都市都市計画局歩くまち京都推進室事業推進担当部長）

バス事業者を取り巻く環境は非常に厳しさを増している。バス運転士については、募集してもなかなか集まらない状況であり、さらには運転士の平均年齢も上がっている。今後の見通しも厳しい状況の中で、いかに地域の足を守っていくかが重要な課題となっている。

今回、大原野地域にてアンケートを実施していただき、実際の利用状況や、仮に西9号系統の経路変更を実施した場合の利用意向を明らかにしていただいた。これまでも「公共交通優先のまちづくり」という方針のもと、洛西地域についてもバスネットワークの維持・確保に向けて取り組んできたが、本日の議論にあった利用者の状況などを分析し、「何ができて、何ができないか」を明確にし、検討を進めていきたい。公共交通については厳しい話ばかりだが、地域の皆様、交通事業者の皆様、そして行政がともに議論・検討し、地域の足をなんとか守れるように取り組んでまいりたい。

#### ○ 井上委員（龍谷大学）

これから人口減少が進み、社会の構造が変わっていく中で、いかに担い手を確保するかが一番の課題となる。バス事業者の取組では、新卒採用につなげる目的で高校を訪問し、バス運転士のメリットとして転勤がないことをアピールするなどの活動をされ、多少の採用につながったと聞いている。しかしながら、それ以上に団塊ジュニア世代等の退職者が増えてくる時期に入り、一瞬の予断も許さない状況である。こうした中、どうしても交通の足がなくなってしまう地域が出てくる可能性があるが、いざ生活路線を確保しようとしたときに、地域住民が主体的に利用促進に取り組むことが大切だろう。

どうしても、ルートを変更すれば別の場所で新たな課題が発生する。いかに折り合いをつけていくかが大切となり、お互いに納得できる合意点を見つけていくことができると思う。

参考までに、他都市のコミュニティバスなどの事例で、ドライバー不足からやむを得ず減便を行った際に、実際の利用人数を示しながら住民に丁寧に

説明をして御納得いただいたということもある。理由を示しながら、住民も一緒になって利用しやすい形に変えていこうという持続可能性を持った選択肢を模索していくことが、今後目指すべき姿だと思う。

○ **齋藤委員（元 NPO法人洛西福祉ネットワーク 理事長）**

現在、新聞等でも話題になっている市民優先価格の検討について、進捗状況を聞きたい。均一運賃の区間については来年度中に実施予定で、調整区間についても同時期の実施を目指すであった。かねてから洛西地域についても均一区間化してほしいという強い要望も持っている。現在の検討状況とこれからの進め方について、教えてほしい。

○ **事務局**

市民優先価格の効果をより多くの市民に実感していただくためには、均一区間だけではなく民間バス事業者が先行事業者となっている調整区間でも実施したいと考えている。令和9年度中の導入に向け取り組んでいるところであり、調整区間についても同時期の実施を目指し、各事業者等と協議を行っている。

○ **宇野会長（京都大学大学院）**

全員が満足できる解決策は簡単に見つからないかもしれないが、地域住民の皆様の不満をできる限り最小化するような選択肢は何かという観点で検討を深めていきたい。

また、直近の課題解決に取り組むとともに、10年後、15年後に人口の構造やニーズがどのように変化しているかといった中長期的な視点も持たないといけない。自動運転などの新しい技術を洛西地域にどう活用していけるかも検討の要素となる。自動運転については、地域の皆様の利用意向や乗用車とのバランス等、様々なご協力があって初めて社会実装が成り立つものである。引き続き、皆様と情報交換しながら進めていきたい。

**4 閉会**

○ **事務局**

次回の協議会の開催については、改めてお知らせする。

京都市洛西地域公共交通会議 出席者名簿

(敬称略)

| 区 分              | 所属・職名                                               | 氏 名    | 備考            |
|------------------|-----------------------------------------------------|--------|---------------|
| 学識経験者            | 京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻 教授                             | 宇野 伸宏  | 会長            |
|                  | 龍谷大学文学部歴史学科日本史学専攻 教授                                | 井上 学   |               |
| 地方運輸局長が<br>指名する者 | 国土交通省近畿運輸局京都運輸支局輸送・監査部門<br>首席運輸企画専門官                | 大谷 健太郎 |               |
| 交通事業者            | 京阪京都交通株式会社取締役管理部長                                   | 栗山 準一  | 代理出席<br>町田 和也 |
|                  | 阪急バス株式会社自動車事業本部営業企画部 部長<br>(地域公共交通担当) 兼新モビリティ推進部 部長 | 野津 俊明  |               |
|                  | 株式会社ヤサカバス統括部長                                       | 平山 敬浩  |               |
|                  | 京都市交通局自動車部長                                         | 児玉 宜治  |               |
|                  | 西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部京滋支社<br>地域共生室長                     | 今岡 弘典  | 代理出席<br>上羽 正義 |
|                  | 阪急電鉄株式会社沿線まちづくり推進部 部長                               | 阿瀬 弘治  | 代理出席<br>畑 喬介  |
| 交通事業者が<br>組織する団体 | 一般社団法人京都府バス協会 専務理事                                  | 川口 宏幸  | 欠席            |
|                  | 一般社団法人京都府タクシー協会 専務理事                                | 藤原 幸嗣  |               |
| 住民               | 西京区自治連合会 会長<br>新林学区自治連合会 会長                         | 片岡 純治  |               |
|                  | 西京区自治連合会 副会長<br>大原野自治連合会 会長                         | 小原 喜信  |               |
|                  | 福西学区自治連合会 会長                                        | 平野 健三  | 代理出席<br>小林 重藏 |
|                  | 元 NPO 法人洛西福祉ネットワーク 理事長                              | 齋藤 信男  |               |
|                  | 桂坂学区自治連合会 前事務局長                                     | 立川 裕美  |               |
|                  | らくさいっこわくわく隊長                                        | 大竹 莉瑚  | 欠席            |
|                  |                                                     |        |               |
| 労働組合             | 京阪京バス労働組合 執行委員長                                     | 俣野 健二  |               |
| 道路管理者            | 国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所事業対策官                            | 安井 茂信  |               |
|                  | 京都市西京土木みどり事務所長                                      | 安田 直弘  | 代理出席<br>吉川 誠  |
| 交通管理者            | 京都府西京警察署交通課長                                        | 信太 伸人  |               |
| 市長が指名<br>する者     | 京都市都市計画局歩くまち京都推進室<br>事業推進担当部長                       | 藤原 啓吾  |               |
|                  | 京都市西京区地域力推進室長                                       | 中谷 芳行  |               |
|                  | 京都市西京区洛西支所地域力推進室長                                   | 槇田 雅也  |               |